

# 南極地域観測事業開始50周年記念

## 〈郵便切手の内容〉

1956年11月8日、第1次南極観測隊を乗せた観測船「宗谷」が東京・晴海ふ頭を出航し、翌年1月29日に昭和基地を開設しました。

この50年間、日本の南極観測は近代的観測を継続して行い、国際社会において大きな役割を果たすとともに、さまざまな成果を挙げてきました。オゾンホールが発見や、南北の両極でのオーロラの同時観測、惑星科学の基礎となる南極隕石の大量の発見などは、その代表的なものです。

南極観測は、地球温暖化や海面上昇をはじめとする地球規模での環境変動の解明においても重要な役割を果たしています。世界に先駆けたオゾンホールの発見は、昭和基地での長年にわたるオゾン観測から生まれました。また、南極の氷から過去の二酸化炭素の濃度と気温の変遷が明らかにされています。

南極は人間の活動圏から遠く離れていますが、南極観測は我々の生活と深く関わっています。南極は未知の地球環境の変遷を知り、未来を予測するうえで重要な地域であり、今後南極観測の継続の重要性、意義はさらに高まっていくものと思われます。

【日本南極観測50周年記念「ふしぎ大陸南極展2006」カタログより抜粋】

## 〈郵便切手のデザイン等〉

歴代の南極観測船(宗谷、ふじ、しらせ)や、カラフト犬のタロ・ジロにより、南極地域観測事業の歴史を振り返るとともに、南極観測に欠かせない雪上車や飛行機、南極地域に生息するコウテイペンギンなどの動物をデザインしました。

### 南極地域観測事業開始50周年記念 特殊通信日付印

使用局 (A) 定例局

(B) 札幌、仙台、横浜、東京、長野、名古屋、大阪、岡山、福岡の各中央郵便局

使用日 (A) 平成19年1月23日(火)～1月29日(月)

(B) 平成19年1月23日(火)のみ



# 南極地域観測事業 開始50周年記念

50th Anniversary of the Japanese Antarctic Research Expedition



<http://www.kitte-design.net/>

発行日：平成19(2007)年1月23日(火)



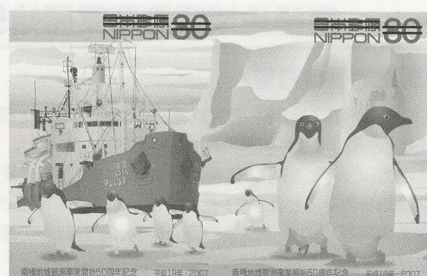
## 南極地域観測事業開始50周年記念

50th Anniversary of the Japanese Antarctic Research Expedition  
80円郵便切手



(1) (2)

(3) (4)



(5) (6)

(7) (8)



(9) (10)



種類 80円郵便切手  
※1シート10枚/1枚から販売します。

意匠 (1) 観測船ふじ、(2) 観測用飛行機、(3) コウテイペンギン、(4) コウテイペンギン、(5) 観測船宗谷とアデリーペンギン、(6) アデリーペンギン、(7) ジロ、(8) タロ、(9) 隊員と観測船しらせ、(10) 雪上車

発行日 平成19(2007)年1月23日(火)

版式刷色 オフセット6色

印面寸法 縦35.5mm×横28.0mm

小切れ寸法 縦38.5mm×横28.0mm

シート寸法 縦222.5mm×横93.5mm

デザイン 星山 理佳 (切手デザイナー)